

雲雀山



男
和孫よ佐者ハ奈良乃部横銃ハ右



成公よは下老あてん。押もいめ
御持いんと云人乃護奏はら
大和親ハ國の境もろを云雀山ありう
志まのひトきまのふまのつよハハ
所傳よてん念いハハハハハハハハ

和孫

海濱の庵とてしよひ老角痛りし
候。去程は侍候とて乳母よむいふれ
死とて手物致さし其死とておろし
出住ぬる人よ是とて代さる彼姫君
とて申すも侍候とていふ
里(下)のむらとていふとていふ
^男行りぬるさ ^男行りぬるさ

いへ姫君の御殿とていへ
^男以殿と申(里)出りいへ申す

事の内もききし里出ては海
^世空やこころ煙とて春の日
^世く ^世敬家子燭きして秋
^世及程さる家貧しとて親智す
^世あく身とて身よの故ぬる

車後よりきり花をりて見ゆへに
 日代無く侍日まゝの時邊
 ことせしむ事おぼく措かむ
 こと事申し事人の其花をり行
 乃為し持心とるさ
 敬あはれおまき為し持心
 入る事おぼく

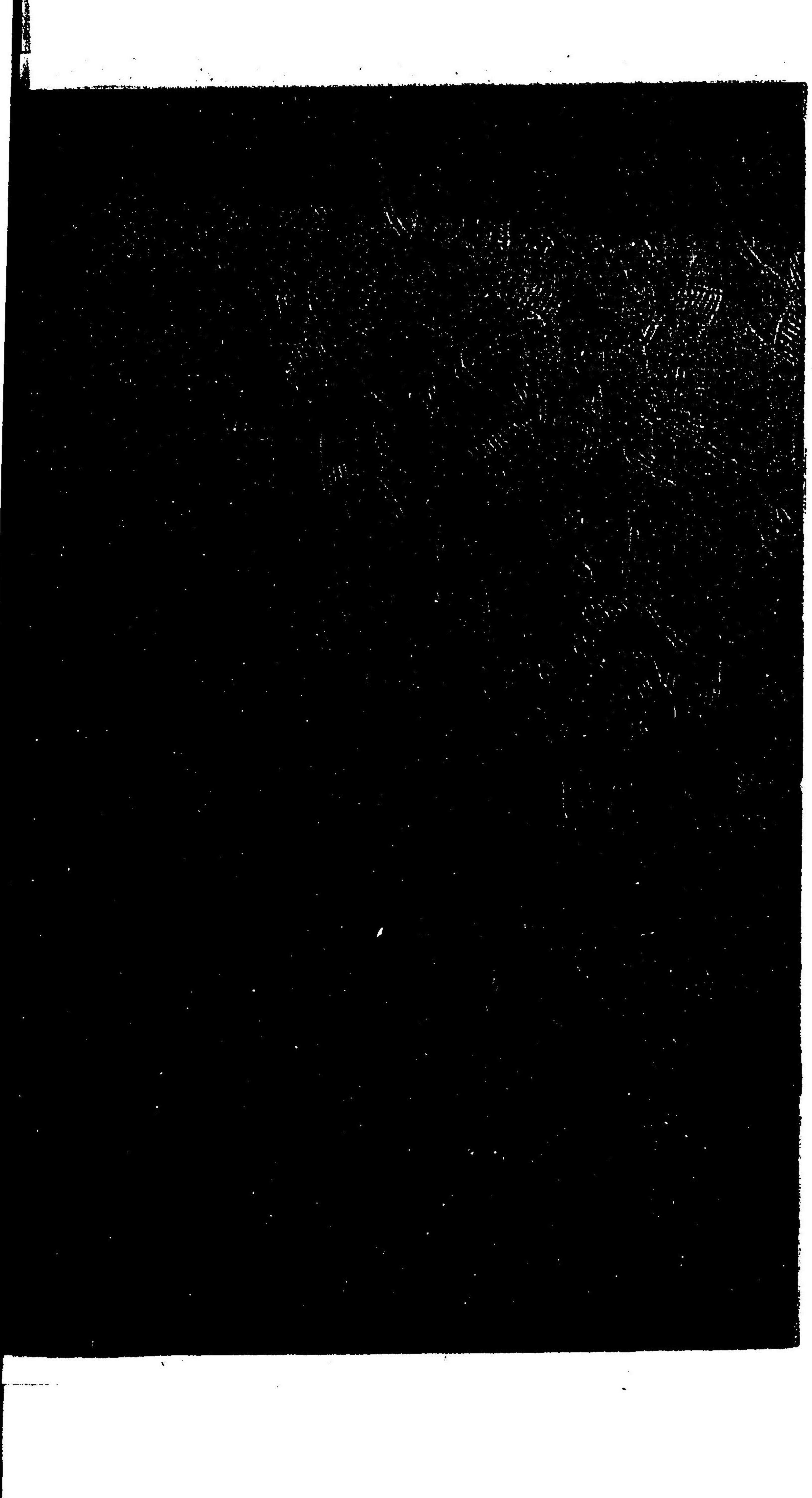
花檻をみえし昔の身林下
 鳴くあはれたる心
 花の枝をさるる花の
 かけとあつと草花の
 又面白く賣物の体と花と賣
 ありて
 事おぼく

其の如く... 其の如く... 其の如く... 其の如く...
 乃目... 乃目... 乃目... 乃目...
 何... 何... 何... 何...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...
 其... 其... 其... 其...

乃月まほろひは躑躅の求遊の人
の物をえらぐたふくまの受乃中胡
蝶まあまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
傳死乃女春の心惜心受青まあまじ受青
さくまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青

かよまじ受青隔つた若の心夜まあまじ受青
面敷の心よ身乃受青まあまじ受青
さくまじ受青まあまじ受青
乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青
つる乃死るまじ受青まあまじ受青



特42
456

訂正
觀世流謠外
卷之六

雲
花
山